

# 病害虫発生予察注意報第 1 号

平成 23 年 7 月 14 日  
三重県病害虫防除所

1. 対象作物：水稻
2. 対象病害虫名：斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメ）
3. 発生地域：全域
4. 発生時期：7 月中旬～8 月中旬
5. 発生量：多い

## 6. 注意報発令の根拠

1) 巡回調査（7 月第 2 週）では、畦畔イネ科雑草 20 回振すくい取りによる中型種（ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類）の発生地点率は 41.9%（平成 31.9%）、成幼虫数は 2.0 頭（平成 1.2 頭）と、平成よりも多い状況です。また微小種（アカスジカスミカメ）の発生地点率は 45.0%（平成 14.2%）、成虫数は 11.7 頭（平成 0.9 頭）と、平成より多くなっています。

2) 同調査において、ホソハリカメムシは県内全域で発生が確認されました。クモヘリカメムシは常発地において、またアカスジカスミカメは北勢地域を中心に、それぞれ多発傾向がありました。

3) 本年の梅雨明けは 7 月 8 日頃と、平成（7 月 21 日頃）より早く明けました。さらに 1 か月予報（7 月 8 日・名古屋地方気象台発表）によると、平成に比べ晴れの日が多く、気温は高い予想であり、斑点米カメムシ類の活動および増殖に好適な条件が続くと見込まれます。

## 7. 防除上の注意事項

- 1) 薬剤防除は穂揃い期に散布しましょう。広域での一斉防除が効果的です。
- 2) 例年、被害の多い地域では、穂揃い期とその 7～10 日後の 2 回散布を実施してください。
- 3) 周辺圃場よりも出穂が早い圃場では、被害が集中する可能性があるため注意しましょう。
- 4) 畦畔など周辺雑草で増殖するので、出穂 10 日前までに除草を徹底しましょう。
- 5) 予想出穂期は、7 月 19 日（津アメダスデータ：4 月 25 日移植コシヒカリ）および、7 月 27 日（上野アメダスデータ：5 月 10 日移植コシヒカリ）です（7 月 10 日現在：生育予測システム・農業研究所）。

農薬は散布する前にラベルの表示事項を再度確認して適切に使用しましょう。